

山梨大学

2025年度

海外留学 プログラム

study abroad program



英 国

オーストラリア

カナダ

カンボジア

スロベニア

タ イ

中 国

韓 国

ドイツ

フランス

米 国

マレーシア

台 湾

INDEX

1. 山梨大学の海外研修・交換留学制度について

2. 夏季・春季海外研修の紹介

3. 交換留学の紹介

- ・交換留学先大学一覧
- ・交換留学生体験記

- ・ケンタッキー大学
- ・ノーザン・アイオワ大学
- ・レスター大学
- ・ブリティッシュ・コロンビア大学イングリッシュ・ランゲージ・インスティテュート
- ・カンボジアのグローバルヘルス課題解決に取り組む共同フィールドワーク
- ・杭州電子科技大学、釜慶大学校、マレーシア・ペルリス大学
(A3I: アジア実問題解決駆動 AI 教育プログラム ショートプログラム)

4. 留学の年間スケジュール

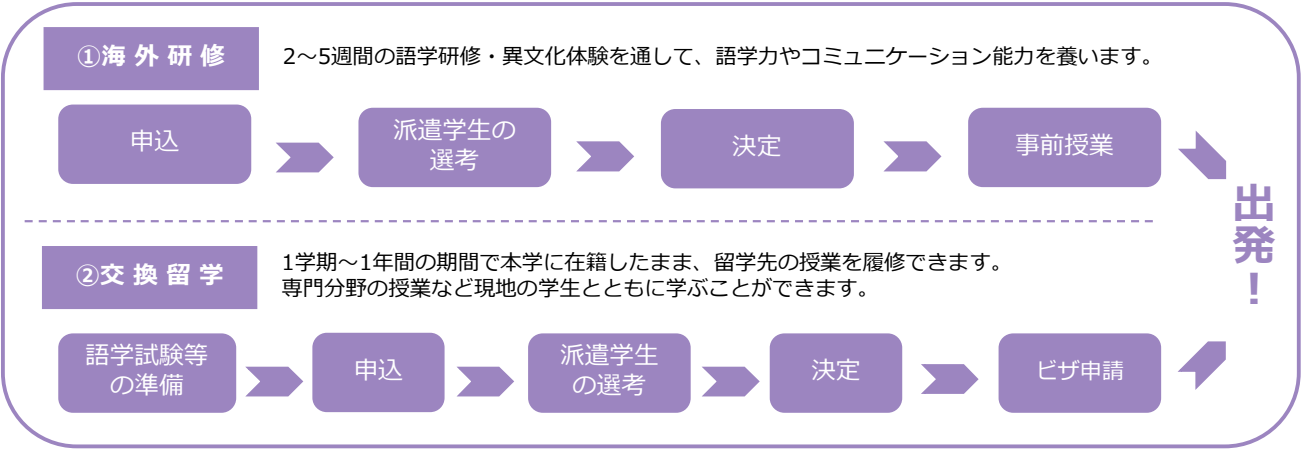
5. 国際化推進センター・グローバル推進課について

海外研修・交換留学制度について

山梨大学には、下記2種類の海外留学プログラムがあります。

- ①**海外研修**：留学の第一歩として、語学研修や文化体験を主目的としたプログラム：2～5週間
②**交換留学**：さらにステップアップして学ぶためのプログラム：5～12か月

海外研修・交換留学へのステップ



海外研修・交換留学で単位取得！

海外研修	- 全学共通教育科目 外国語科目群 2単位 (本人の申請により修了証書等の提出に基づき、単位認定が可能です (ただし対象プログラムのみに限定)) - 全学共通教育科目 展開科目群 国際理解科目 「海外で学ぼう-海外研修・交換留学Gateway I / II」 1単位
交換留学	- 全学共通教育科目 展開科目群 国際理解科目 「海外で学ぼう-海外研修・交換留学Gateway I / II」 1単位 - 交換留学先で履修した授業科目については、所定の手続きを経て、山梨大学の所属学部または大学院で単位認定を受けることが可能です。

充実した奨学金サポート！

山梨大学では、山梨大学が主催する海外研修・交換留学に参加する学生をサポートする奨学支援金制度があります。条件を満たす学生は奨学金を受給して渡航することができます。参加者の多くの方が奨学金を受給しています。**返済の必要がない奨学金**として、日本学生支援機構（JASSO）の給付型奨学金、山梨大学秋山勝彦グローバル人材育成奨学支援金（工学系・医学系の学生対象）、山梨大学留学応援プログラム、トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム、山梨県若者海外留学体験人材育成事業（山梨県大村智人材育成事業）等があります。

費用と奨学金の例（海外研修）

プログラム名	期間	参加費※1 (旅行代金、授業料、 宿泊費、保険料等)	奨学金※2 (要件を満たした場合、2種類の奨学金が併給可能)
ケンタッキー大学 (米国)	5週間	約96万円	16万円 JASSO奨学金 12万円 秋山奨学金 工学部対象 15万円 秋山奨学金 医学部対象 7万円 山梨大学留学応援プログラム
ブリティッシュ・コロンビア大学 イングリッシュ・ランゲージ・インスティテュート (カナダ)	4週間	約85万円	12万円 秋山奨学金 工学部対象 15万円 秋山奨学金 医学部対象 7万円 山梨大学留学応援プログラム

※1 為替レートや物価変動によって金額が変わります。この金額は令和6年度の実績です。
※2 年度・学部・派遣先国によって、奨学金の金額が変動します。詳細は各プログラムの募集要項にてご確認ください。



ケンタッキー大学英語・文化研修

📍 米国 ケンタッキー州 レキシントン市



時期 2~3月 | 期間 5週間 | 費用 約96万円

大学について

ケンタッキー大学は1865年に設立され、U.S. News and World Report誌によれば同州最高の学術研究機関でありながら、スポーツも盛んで、男子バスケットボールでは多くのNBA選手を輩出しています。

研修内容

ケンタッキー大学の Center for English as a Second Language (CESL)での英語・文化研修に参加します。毎日リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの各授業にて、コミュニケーションに必要な語学力の習得を目指します。英語の授業のほか、現地の学生との交流活動も行われる予定です。渡航前、渡航後にも1回ずつオンラインにて現地学生との交流を行います。



参加者の声（生命環境学部地域食物科学科 西野 善希さん）

中学生のころから英語圏に留学することに興味があり、高校も留学ができるころを選び、進学しました。しかし、ちょうど中学を卒業する年の2月から新型コロナウイルス感染症の影響で学校自体休校になり、高校に入学後も留学はかきませんでした。そんな私にとって留学することは悲願だったので、募集を知った時、チャンスがあるならば積極的に参加したいと思い、参加しました。

一番印象に残っているのは、みんなフレンドリーに話しかけてくれることです。私は髪を染めていたのですが、通りすがりの知らない学生さんも急に話しかけてきて褒めてくれたり、学食で席が近かっただけで話しかけてくれて友達になったりと、人との壁を感じませんでした。もともと人見知りな私でしたが、どんどん話しかけてくれるので現地の学生ともすぐに仲良くなれました。

留学を考えている人にメッセージ

私がそうだったように、留学はいつでもできることが当たり前なことではなく、新型コロナウイルス感染症や国際情勢などの理由でいけなくなってしまうことがあることを実感しました。次の機会がある保証はありません。そのため、今留学できる状況にあるのにも関わらず行こうか迷っているのならば、確実に行った方がいいですし、きっと後悔しません。国際化推進センターの先生やグローバル推進課のスタッフも、私たちの不安や分からないことなどに寄り添って後押ししてください。何でも相談してみることをおすすめします。ぜひ今回のチャンスを逃さないください。



授業スケジュール（参考例）

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday
9:00 AM	Class 1 9:00 AM - 9:50 AM	Class 1 9:00 AM - 10:15 AM	Class 1 9:00 AM - 9:50 AM	Class 1 9:00 AM - 10:15 AM
10:00 AM	Class 2 10:00 AM - 10:50 AM	Class 2 10:30 AM - 11:45 AM	Class 2 10:00 AM - 10:50 AM	Class 2 10:30 AM - 11:45 AM
11:00 AM	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch
12:00 PM	Class 3 12:00 PM - 12:50 PM	Class 3 12:30 PM - 1:45 PM	Class 3 12:00 PM - 12:50 PM	Class 3 12:30 PM - 1:45 PM
1:00 PM	Class 4 1:00 PM - 1:50 PM	Class 4 2:00 PM - 3:15 PM	Class 4 1:00 PM - 1:50 PM	Class 4 2:00 PM - 3:15 PM
2:00 PM				
3:00 PM				



ノーザン・アイオワ大学英語・文化研修

📍 米国 アイオワ州 シーダーフォールズ市



時期 8~9月 | 期間 5週間 | 費用 約90万円

大学について

現在のノーザン・アイオワ大学は1967年に設立されました。教員の養成を行う大学としてスタートし、今では90以上の多種多様な専攻があります。また、ウェルネスレクリエーションセンターやシアターなど施設が充実していることも大学の魅力の1つです。



研修内容

The Culture and Intensive English Program (CIEP)における英語・文化研修やイベントへの参加に加え、1週間のホームステイに参加します。CIEPでの4週間の語学研修では、習熟度に合わせて英語レッスンを受講します。ホームステイや周辺地域への小旅行等を通して、アメリカ文化を体験します。



参加者の声（生命環境学部生命工学科 倉澤 陽平さん）

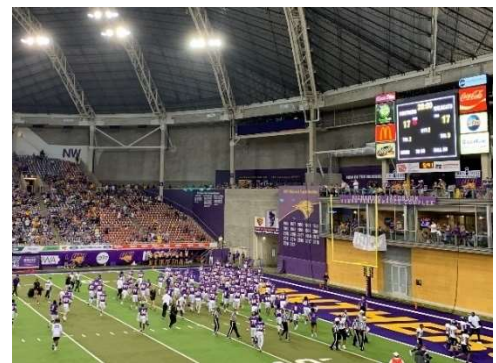
山梨大学に入学してから留学や海外研修プログラムについてのお話を伺い、海外でのホームステイや大学での勉強を経験することで知見を広げたいと思い、海外研修に参加しました。また大学の留学へのサポートも充実していたので在学中に一度行ってみようと思いました。

1週間のホームステイ期間中には、現地企業の訪問の他にもステートフェアに行ったり、甲府市とデモイン市の交流会に参加したりと、多くの貴重な経験をすることができました。また大学では、サッカーやアメフトなどの試合を観戦したり、親しくなった学生とテニスや外出に行ったりと、非常に充実した時間を過ごすことができました。

英語の授業では、文法の勉強やエッセイの書き方を学び、プレゼンテーションや討論の練習をしたりしました。授業では英語の能力はもちろん、扱われる様々な種類のテーマに対しての明確な意見とそれを積極的かつ迅速に表現することが求められており、普段とは一味違った授業を体験することができました。また先生方にお話しし、空いた時間に自分の専攻分野に関連した学部の授業に参加することもできました。

留学を考えている人にメッセージ

留学中にはプログラムで設定された活動以外にも、自分が興味深いと感じたことに挑戦する機会が非常に多くあります。様々なものに意識を向け、何か面白そうだと感じた時には積極的に行動することで、短期間でも多くの経験を積むことができ、留学の意義も大きく変わります。語学力の向上や現地の文化を体験したい方、プログラムへの参加を検討してみてください！



プログラムスケジュール（参考例）

	MON	TUE	WED	THU	FRI
W1	- Principal Financial Group - Visit Sculpture Park and Art Center	- Tour at State Capital - NGO (DMARC/Iowa Food Bank/etc)	- Tour of Bridgestone - Tour of World Food Prize	- Iowa State Fair - Free time at the Fair	- Kemin Industries - Meeting with Iowa Sister States Yamanashi Committee
W2	- Orientation - English Placement Exam - Informational Session	- CIEP Classes - Talk Tuesday - Safe Behavior	- CIEP Classes - RSVP Discussion - Welcome reception	- CIEP Classes - Rod Library Tour	- CIEP Classes - International Student Welcome Picnic
W3	- CIEP Classes - College Life Lecture	- CIEP Classes - International Marketing Lecture	- CIEP Classes - RSVP Discussion - Northeast Iowa Food Bank	- CIEP Classes - Class Observation / Class Exchange	- CIEP Classes - Coffee Hour with the Botanical Center
W4	- CIEP Classes - John Pappajohn Entrepreneurial Center	- CIEP Classes - Afternoon Activities	- CIEP Classes - RSVP Discussion	- CIEP Classes - Tour John Deere	- CIEP Classes - Coffee Hour
W5	- CIEP Classes - Lab	- CIEP Classes - BBEA Collaboration in JPEC Lounge	- CIEP Classes - RSVP Discussion - Free time	- CIEP Classes - Lab	- CIEP Classes - Coffee Hour& Farewell Party



レスター大学 英語・文化研修

📍 英国 イングランド中部 レスター市



時期 8月 | 期間 3週間 | 費用 約75万円

大学について

レスター大学は、1921年に設立された、英国で最も古い伝統を誇る大学のひとつです。研究教育両面で高いレベルを誇っており、イギリス有数の総合大学です。学生の満足度において全英1位を獲得したこともある、英国屈指の名門大学です。

研修内容

レスター大学のキャンパスにあるEnglish Language Teaching Unit (ELTU) において実施されている、①英語・文化プログラム、②医学系学生向けプログラム、③人文系英語プログラム、④ビジネス英語プログラム、のいずれかのプログラムに参加し、英語力とコミュニケーション・スキルの向上や英国文化体験を行います。



参加者の声

(教育学部山梨県小学校教員養成特別教育プログラム 松本 樹々さん)

私はこれまで留学未経験で飛行機すら乗ったことがありませんでしたが、いつかヨーロッパに行ってみたくてずっと思っており、文化体験もできるこのプログラムに参加しました。

英検は持っていますが英語でのコミュニケーションには不安な点もありましたが、実際に現地の先生や他の留学生、現地の学生と話す中で自信を持てるようになりました。学校生活では課外活動の中で先生のおすすめのご飯屋さんを聞いたり、日本にはない文化の話の聞いたり、新しいことを知る過程が楽しかったです。

平日午後に学外活動があったのは私が参加していたDiscovery programだけでしたが、アフタヌーンティーや演劇施設、市内見学、全プログラム共通でスポーツ大会やコンペ、パブなどに行ったのが印象的です。プレゼンテーション準備に向けて学内にいる一般の方や学生にアンケートを取りに行ったことは、緊張しましたがとても新鮮で楽しい経験でした。



留学を考えている人にメッセージ

少しでも留学したい！という気持ちがあって、それができる機会があるなら、ぜひ留学に行ってみてください！ネットを介せば様々なことを知ることができますが、私自身、実際に行ってみないとわからなかった発見がたくさんありましたし、さまざまな人に会う経験は私の価値観を広げてくれました。私の参加したDiscovery Programは日本からの留学生も多く、安心して留学生生活を過ごすことができました。もちろん知らない世界に一人で飛び込むには勇気が必要でしたが、何にも代えがたい価値がこの留学にはあったといえます！



プログラムスケジュール (参考例)

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
W1	- Arrival Date - Welcome Dinner	- Academic English 1(Project Introduction) - Everyday English 1 (Small talk) - City Tour	- Academic English 2 (Designing your questionnaire) - Everyday English 2 (Shopping)	- Academic English 3 (Gathering data) - Everyday English 3 (Afternoon Tea) - Afternoon Tea	- Academic English 4 (Findings) - Everyday English 4 (Travelling around)	Day Trip to London
W2	- Academic English 5 (Create core content) - Everyday English 5 (Fast speech) - Curve Drama Workshop	- Academic English 6 (Poster organization) - Everyday English 6 (Eating out) - Academic English 7 - Sports Evening and Buffet	- Academic English 8 (Lecture Prep) - Everyday English 7 (Conversation Skills)	- Everyday English 8 (Richard III) - Lecture - Field trip	- Academic English 9 (Learning Keywords) - Everyday English 9 (Oxford Polite requests)	Day Trip to Oxford
W3	- Academic English 10 (Talking about your poster) - Everyday English 10 (Sport) - Social Activity	Day Trip to Stanford-upon-Avon	- Academic English 11 (Interacting with the audience) - Everyday English 12 (Slang)	- Poster Presentation - Farewell party	Bradgate Park visit and pizza lunch	Departure date



University of British Columbia

ブリティッシュ・コロンビア大学 イングリッシュ・ランゲージ・インスティテュート 英語・文化研修



📍 カナダ ブリティッシュ・コロンビア州 バンクーバー

時期 2~3月 | 期間 4週間 | 費用 約85万円

大学について

ブリティッシュ・コロンビア大学は、州立の名門総合大学です。1908年に創立され、約66,747人が学んでいます。また、国際的な知名度も高いカナダ屈指の名門大学でもあり、166か国から来た約18,323人の留学生が学んでいます。これまで卒業生の中から3人のカナダ首相、さらに7人のノーベル賞受賞者を輩出しており、カナダの大学のランキングで常にトップ3に入ります。



研修内容

大学内にあるELI (English Language Institute) のASPIREプログラムへの参加を通じて、グローバルなテーマである、環境、文化交流コミュニケーションなどについて英語で学びます。また期間中、現地家庭でのホームステイで英語力のアップを図ります。ELI講師陣は英語を母語としない学生を対象とする教育経験が豊富です。



参加者の声 (医学部医学科 中矢 愛海さん)

私が留学したきっかけは、英語しか話すことができない環境に行くことで自分の英語力を高めたいと思ったからです。大学1年生のときにオンライン留学のプログラムを受講したのですが、そのときの経験から実際に現地に行ってみたいという思いが強くありました。今回、医学科の病院実習が始まる前に留学に行くことができる最後のチャンスだと思い、カナダに行くことを決めました。

プログラム期間中はクラスメイトと一緒に弁当を食べたり、キャンパス内を散策したりすることが楽しかったです。UBCのキャンパスはとても広く、ビーチもあるので毎日いろいろな場所を見て回るのがおもしろかったです。ホームステイ先のホストファミリーは学校での様子を聞いてくれたり、英語を上達させるためのアドバイスをくれたり、とても優しくしてくれました。

留学を考えている人にメッセージ

留学したいと思っていても、英語力に自信がなかったり、費用面などでなかなか一歩踏み出せない人もいるかと思います。私も自分の英語が通じなかったらどうしようと不安な気持ちがありましたが、実際に行ってみるとホストファミリー、ELIの先生、UBCの学生、クラスメイト、お店の人などみんなとても優しく迎え入れてくれ、英語を話すことに自信ができてくると思います。奨学金制度もいくつかあるので、少しでも留学に興味がある方は勇気を出して行ってみると後悔しないと思います！



授業スケジュール (参考例)

Time	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
9:00am-12:30pm	Morning class	Morning class	Morning class	Morning class	Morning class
12:30pm-1:30pm	Lunch break	Lunch break	Lunch break	Lunch break	Lunch break
1:30pm-3:45pm	Afternoon class	Afternoon class	Afternoon class	Afternoon class	

1日のスケジュール

7:00	8:00	9:00~12:30	12:30~13:30	13:30~15:30	17:00	19:00~20:00	23:00
起床 朝ごはん	大学へ 出発	授業	ランチ	授業 Speaking	帰宅 夕飯	課題 ホストファミリーと談話	就寝



カンボジアのグローバルヘルス課題解決に取り組む共同フィールドワーク

カンボジア王国 プノンペン都



時期 8~9月/2~3月

期間 2週間

費用 約20万円

研修内容

保健・医療の範囲に限らず、水資源、栄養、食糧、農業、教育、インフラ整備等、健康に影響を与える暮らしの中の様々なグローバルヘルスにかかわる課題の中で、関心があるテーマを選定し、主体的に学習に取り組めます。学内グループワークやプレゼンテーションを経て、事前にフィールドワーク計画を作成します。カンボジア渡航後は、学生各自のフィールドワーク計画に沿って主体的に活動します。また、本学協定校の王立プノンペン大学、カンボジア工科大学、国際大学の学生との共同フィールドワークや共同討議も実施します。



参加者の声（工学専攻流域環境科学特別教育プログラム 木村 龍生さん）

きっかけは留学への憧れからです。それは特別「英語を使った職業につきたい」みたいな夢があったわけではなく、ただ「自分の知らない世界を感じたい」という気持ちからでした。語学研修ではなくフィールドワークのプログラムで自分の研究が活かせるということ、奨学金等金銭面の支援もあることなど、いろいろなことが重なり挑戦することに決めました。プログラムではフィールドワークとシェムリアップでの文化体験学習を行いました。フィールドワークでは家庭の井戸水を採取してもらい水質を分析したり、インタビューを行い、水の使い方や味についてのお話を伺ったりしました。文化体験学習では現地ガイドの説明を聞きながら遺跡を見学し、デザインだけでなく歴史や宗教的背景を学んだことでより感情移入し、持っていたカメラのシャッターが止まりませんでした。この研修で印象に残っていることは文化の違いです。例えば、トイレの横にはウォシュレットではなく水圧がものすごい小型のシャワーがあったり、ほとんどの料理の味は、見た目から予想した味と違ったりしました（どれもやみつきになりました）。海外のことをなんとなくわかっていただけでしたが、行かないとわからないことが山ほどあることを実感させられ、自分の住んでいた世界の狭さを痛感する貴重な経験をすることができました。

留学を考えている人にメッセージ

全てが新しい経験で、自分の知らない世界が広がっていました。どうしてもお金がかかることから、「本当に行く意味があるのだろうか？」と考えてしまうかも知れません。正直、1ヶ月の海外生活で英語がペラペラになるわけではありません。ただ、出発前の準備から始まり、現地での新しい発見、自分の英語力のなさへの絶望、現地の人の優しさに触れることで、帰国後の自分は出発前の自分とは違う自分になっています。そしてそれが長い人生で見ると「行く意味があった」と言えるキープポイントになるのだと思います。

なので、たまたま私の文章を読んでくれた人にはこのきっかけを活かして挑戦してほしいと思います。

この文字内では全ての良さを伝えきれないほどオススメです！！



プログラムスケジュール（参考例）

	内容
1日目	日本発・プノンベン着
2~3日目	オリエンテーション、村活動のための準備、等
4~9日目	農村訪問、学生の計画に沿った各種活動の実施（場合によってはカンボジアの学生との合同調査あり）
10~12日目	プノンベン：市内視察（文化・歴史学習）、カンボジアにて起業等をされている日本人訪問、カンボジアの学生との交流、など
13~16日目	学生自主企画によるシェムリアップに移動、活動（文化・歴史学習） 現地発（プノンベンまたはシェムリアップ発） 予定
17日目	日本着

INTER-UNIVERSITY EXCHANGE PROJECT



大学の世界展開力強化事業 アジア実問題解決駆動AI教育プログラム

アジア実問題解決駆動
AI教育プログラム
ホームページ⇒



杭州電子科技大学 / 釜慶大学校 / マレーシア・ペルリス大学

山梨大学は、令和3年度文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」というプログラムに採択され、中国、韓国、マレーシアの各大学と学生交流を行っています。このプログラムの中では、短期プログラム、サマースクール、長期留学によるデュアルディグリープログラムなど、様々なスタイルの学生交流を行っています。要件を満たせば、各プログラム費用の補助があるため参加しやすい点が魅力です。

ここでは、全学部・専攻の学生さんが参加できる短期プログラムについて紹介します。さらに詳しくプログラムについて知りたい方はホームページをご覧ください。グローバル推進課にお問い合わせください！



杭州電子科技大学
Hangzhou Dianzi University

時期

8月

期間

10日間

費用

約20万円

(一部費用の補助あり)



大学について

1956年に中国浙江省の杭州市に設立され、2015年4月に浙江省重点大学に選ばれた公立大学です。理学・工学・管理学・文学・法学・教育学等の多くの学科を総合的に発展させている研究型大学として高い評価を得ており、特に電子情報分野においては、常に中国国内で高いランキングに入っています。

研修内容

中国語学・文化体験の研修に参加します。中国語の授業に加えて、中国の歴史、カンフー、中国茶の授業と体験、中国書道などの体験をします。中国語を全く勉強したことがない方も参加できます。現地の学生との交流に加え、韓国、マレーシアからの3大学参加者と一緒に参加しますので各国の学生とも交流できます。

参加者の声

(工学専攻グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム 鈴木 晃洋さん)

海外に興味がありましたが、いざ行くととなると海外旅行や留学はお金や時間もかかるため、不安がありました。

応募前はそんな心持でしたが、A3Iのプログラムで、中国の伝統文化や先進技術を感じ、さらに中国語を学びつつ国際交流もでき、また期間も2週間弱と初めての海外にはぴったりだと思い、参加を決めました。

このプログラムでは渡航費の支援も受けることができることから、金銭的な負担もあまり大きくありませんでした。

プログラムの内容は、基本的に午前中に中国語と文化の授業、午後は校外学習(西湖や霊隠寺、博物館、会社見学など)というスケジュールでした。中国語の授業は初めての人のに合わせて丁寧に教えてもらえます。文法では、つまづきかけましたが、一緒に参加していた学生に助けてもらい、最後まで楽しく受けることができました。

すべてのアクティビティを他国の学生と一緒に取り組むことができるので、中国に加え他国の文化や言語も合わせて学ぶことができます。むしろ、マレーシアや韓国の学生と仲良くなるかもしれません。

食事は、昼は学食、夜は学校周辺のレストランで各自食事をとり、他の参加と楽しみました。充実した10日間になりました。



プログラムスケジュール (参考例)

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Weekend
Week1	-	Departure from Japan Arrival in China	Opening Ceremony Labo Tour Lecture Field Trip: The West Lake	Language class Lecture Field Trip: Temples	Language Class Lecture Field Trip: Chinese Tea Museum	Free
Week2	Language class Lecture	Language class Lecture Field Trip: The Xixi Wetland National Park	Language class Lecture	Language class Closing ceremony Farewell Lunch	Departure from China Arrival in Japan	-



釜慶大学校 Pukyong National University

時期
8月

期間
10日間

費用
約15万円
(一部費用の補助あり)



大学について

釜慶大学校は4つのキャンパスに約 25,000人の学生を擁する韓国の大規模大学です。ヨンダンキャンパスは、2015年度から企業に全面開放されて、「ドラゴンバレー・キャンパス」と呼ばれ、AI、IoT、ヘルスケア分野に特化した 341 社が居住する韓国東南部地域の産学連携拠点として注目されています。

研修内容

韓国・釜慶大学校にて文化体験プログラムに参加します。韓国語の授業の他、テコンドーやK-POPなどの身体を動かすものから、お茶や陶芸体験などの伝統的なもの、ミュージアムや世界遺産などを訪れて歴史に触れるものまで、多岐にわたる韓国文化を体験できる授業に参加します。座学ばかりではなく、実際の体験を通して、より深く学ぶことができます。中国とマレーシアからの3大学参加者と一緒に参加しますので各国の学生とも交流できます。

参加者の声 (生命環境学部生命工学科 谷脇 瑚葉さん)

このプログラムに参加したことのある友人から、「とても楽しかったからぜひ参加するべきだ」という勧めを受けたことが大きなきっかけでした。

また、カナダやアメリカなどといった英語圏では留学経験があるのですが、日本語や英語以外の言語の中で生活をしたことがなかったの、自分の知らない言語の中で生活するのはどんな感じなのだろうという好奇心が湧き、もともと韓国の音楽や料理、韓国語など韓国文化にも興味があつたので参加することに決めました。

一番印象に残っていることは、プログラムに参加する他の国からの留学生や現地の学生、先生方だけでなく現地の人々みんながとても親切だったことです。お店の人がおすすめの場所や料理などを教えてくださったり、現地の学生には色々な所に連れて行ってもらったりしました。普通の観光旅行では知ることができない、現地の人のおすすめをたくさん知ることができるのは留学の醍醐味でもあると思います。

10日間という短い時間でしたが、寮生活を通して生活習慣の見直しができたり、問題対処能力が身に付いたり、留学に行かなければ出会えなかった、ルームメイトや他の学生と仲良くなれて良かったです。



マレーシア・ペルリス大学 Universiti Malaysia Perlis

時期

8月または2月予定

期間

10日間

費用

約25万円

(一部費用の補助あり)

大学について

マレーシア・ペルリス大学は地域を代表する工学系の大学として、特にエレクトロニクスと IR4.0、AIの教育に重点をおき、地域の電子および ITの発展を牽引してきました。

研修内容

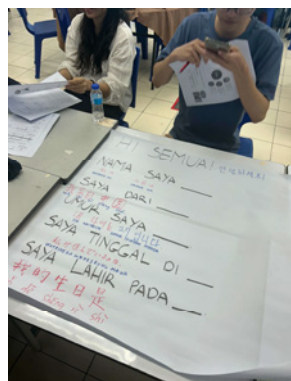
マレーシア・ペルリス大学にて語学・文化研修に参加します。マレー語の授業の他、伝統的なコスチューム、舞踊、アート等に触れる授業やオプションツアーに出かけます。また企業見学等も行います。現地学生との交流の他、一緒に参加する韓国・中国の学生との交流もあります。



参加者の声 (工学部電気電子工学科 神澤 優花さん)

高校時代の英語の授業を通じて、海外に興味を持ち始め、大学生になったら国際交流に取り組みたいと考えていました。大学入学後、English cafeで留学生や日本人学生と英語でコミュニケーションを取る中で、留学へのモチベーションがより一層高まりました。学内でできたマレーシア出身の友人たちに、自国の文化や食べ物のことを教えてもらい、彼らの育った国の景色を実際に見てみたいと思ったことがきっかけでマレーシアの研修に参加することを決めました。

現地の、同世代の仲間たちの活気あふれる様子が印象に残っています。意欲的に授業に取り組み、全力で娯楽を楽しみ、何より何事にも失敗を恐れず一生懸命な姿に刺激を受けました。留学先には、各国から集まった様々なバックグラウンドを持つ人たちが大勢います。そのような中でも、お互いの個性を重んじ、尊重しようとする雰囲気がとても心地よく感じました。多くの人と交流できたことは、自分や自国のことを見つめ直す貴重な機会になったと思います。



交換留学先一覧

1 学期から 1 年間の期間で海外交流協定大学と相互に学生・研究交流を行う制度です。本学に在籍したまま留学をするので、山梨大学に授業料を納めれば、留学先の協定大学の入学料、授業料、検定料を納める必要はありません。

国・地域 (50音順)	大学名	大学について	語学要件等
英国	オックスフォード・ブルックス大学 (Oxford Brookes University)	近年Sunday Times紙のGood University Guideでベストニューユニバーシティに連続で選ばれている、質の高い研究と教育を誇る大学18学部、160を超えるコースを開講している。	・学部授業履修：IELTS UKVI 6.0以上 ・英語コース+学部授業履修：IELTS UKVI 5.5以上 ・成績：GPA 2.8
オーストラリア	シドニー工科大学 (University of Technology Sydney)	約130の学士、約210の修士コースがある。交換留学プログラムでは学部授業履修プログラム以外に、大学付属機関でオーストラリア文化等の学習を通じて英語を学ぶプログラムもある。	・Most programs：IELTS 6.5、TOEFL-iBT：79-93 ・英語、文化コース：IELTS 5.0以上 ・成績：GPA 2.5
スロベニア	リュブリャナ大学 (University of Ljubljana)	スロベニアで最も大きい大学であり、世界でも最大規模の大学の一つ。法学・経済・文化・工学・生物学・医学等23の学部と芸術関係の3つの専門学校を有している総合大学。	・英語もしくはスロベニア語CEFR B2以上
タイ	コンケン大学 (Khon Kaen University)	17学部および大学院を有する総合大学。タイ語で受講する学部授業履修プログラム以外に、英語で授業を受講するプログラムもある。	・原則としてタイ語 または ・TOEFL-iBT: 61以上 ・TOEFL-CBT 173以上
台湾	国立陽明交通大学 (National Yang Ming Chiao Tung University)	合併前の陽明大学は医学教育を強みとし、交通大学は台湾の工学分野の教育と研究を牽引してきたトップ研究大学。合併後、陽明大学と交通大学の強みと特色を融合し、5つの郡と市に9つのキャンパス、19の学部、1,400人の教員と17,000人の学生をもつ総合大学となった。	学部・学科により異なりますのでグローバル推進課にお問い合わせください。
中国	杭州電子科技大学 (Hangzhou Dianzi University)	工学系のみならず、学部は57、大学院は70ものプログラムを提供している。理学、工学、管理学、文学、法学、教育学などの多学科を総合的に発展させている研究型大学で高い評価を得ている。	・中国語検定（HSK）4級以上、または、 ・TOEFL-iBT80以上 ・IELTS 5.5以上
中国	外交学院 (China Foreign Affairs University)	外交、国際政治、経済、国際法、外国語などの学部を中心とした、将来外交に携わる人材を育成するエリート学校で、多くの外交官や国際問題専門家輩出している。	・中国語能力試験HSK4級以上、又は、同等レベル ・英語授業を受ける場合英語能力保持者
中国	西南交通大学 (Southwest Jiaotong University)	国家重点大学の1つとして指定されている総合大学。とくに土木工学、機械工学、電気工学、計算機応用工学、通信工学、交通工学、材料、建築及び管理学等の学科分野で高い評価を得ている。	原則として中国語。修士課程の授業では英語もあり。
ドイツ	ドレスデン工科大学 (Dresden University of Technology)	ドイツでも極めて歴史ある工科大学だが、現在では数学を含む自然科学、環境科学、人文科学、社会科学、医学も提供する総合大学。	・ドイツ語能力：CEFR B1レベル以上 または、 ・英語能力：CEFR B1 ～B2 レベル以上
ドイツ	ゲオルグ・ジモン・オーム工科大学ニュルンベルク (Technische Hochschule Nuernberg, Georg Simon Ohm Germany)	実践志向の教育を重視した名門の応用科学大学。工学、情報学、経済学、デザイン、社会科学などの分野で幅広い学士号および修士号プログラムを提供している。工学、情報学、経済学などの分野においては英語で授業を受講することが可能。	・ドイツ語能力：CEFR B2レベル以上 ・英語能力：TOEFL-iBT 80以上またはこれと同等のレベル（学科等により異なりますのでグローバル推進課にお問い合わせください。）
フランス	リヨン第三大学 (Jean Moulin Lyon 3 University)	フランス第二の都市リヨンに位置する文系大学。フランス語で受講する学部授業履修プログラム以外に、英語で授業を受講するプログラムもある。	・フランス語能力：原則として、B1以上 または、 ・TOEFL-iBT 80以上 ・IELTS 6.5
米国	イースタン・ケンタッキー大学 (Eastern Kentucky University)	教育系の専攻分野が特に充実しているほか、ビジネスや理系科目も広く開講しており、幅広い分野の学習が可能。	・TOEFL-iBT 71以上 ・TOEFL-ITP 530 以上 ・TOEFL-CBT 195以上 ・IELTS 6.0 以上

(一部の参考情報を掲載しています。詳細については、学内掲示版CNSまたはグローバル推進課にて、最新情報を必ずご確認ください。)

留学を思い立ったら・・・

- 留学には通常1年～1年半ほどの準備期間が必要です。大学生活の**早い段階から準備**を開始することが**留学実現のカギ**となります。留学に関心を持ち始めたら、**グローバル推進課**まで相談に来てください！
- プログラムの申請には、**TOEFL**や**IELTS**などの語学試験の点数が必要です。日頃から外国語に触れる機会を作り、気軽に今の英語力を測ることができる学内TOEFL（TOEFL-ITP、年1回実施）を受験し、目標を設けて**積極的に語学力の向上に努めてください**！学内では、留学生と英会話を楽しんだり、日常的に外国語や海外の文化に触れることのできる**G-フィロス（グローバル共創学習室（B1-221））**もありますので、ぜひ活用してください。
- 各大学の応募資格詳細は、国際化推進センター・グローバル推進課ホームページ、または、新入生ガイダンス資料をご参照ください。

交換留学体験記

留学先

英国



オックスフォード・ブルックス大学

水野 ひなさん

教育学部言語教育コース

留学したきっかけ

将来英語教員になるのに英語が喋れないのはカッコ悪い! と思ったことがきっかけです。また未知の世界に飛び込むことによって自分は何を感じるのかなど、自分の価値観を確かめたいという思いがありました。そこで留学中は、スピーキング力の向上と自分を知ること目標に生活していました。

留学して良かったこと

様々な国からの学生が集まるので、英語アクセントの多様性に最初は戸惑いました。けれど、その違いがあって当たり前だ、というオックスフォードの受容的な温かい雰囲気が私は好きでした。また、学校内外で学生のためのイベントが多かったことが印象的です。放課後、よく友人と無料フード目的でイベントに参加していましたが、そこでの出会いが留学生生活を豊かにしてくれました。

履修した授業

○英語コース（3か月）/ 月～金 9:00-13:00 / 英語4技能、ディスカッション、プレゼンテーションスキル等、大学の授業履修に必要なスキルを磨く

○学部授業（約4～5か月）/ 1コマ2～3時間×週4 / 自身の本専攻が教育であったため、ビジネスコース以外であればどの分野からも選んで受講できました。中でも、日本語コースの学生とペアを組んで英語と日本語を練習する授業はとても画期的で役に立ちました。

留学を考えている人に一言

留学をするのに立派で大きな理由はいらないと思います。経験をするのが大事だと思うので、少しでも気になったら早めに相談、行動してみてください。



留学先

ドイツ



ドレスデン工科大学

藤原 エレナさん

工学部応用化学学科

留学したきっかけ

高校時代の10か月間のドイツ留学において、現地高校の教育方法や生徒の意欲や積極性に圧倒された経験から、このような刺激的な環境で再び学び、自発的な行動を常に意識し、自分の成長に繋がっていきたくと思ったからです。また、ドイツは私が専攻・研究している化学分野で長けていたり、国民の環境問題への意識が高かったりと最先端の化学技術を学ぶのに最適だと思ったこともドイツへの留学を決めた理由の一つです。

履修した授業

主要元素化学、基礎数学、基礎物理化学、物理、一般化学及び分析化学、ドイツ語、英語、セミナー、演習、実験の授業を履修しました。

留学して良かったこと

世界中から留学生が集まっており、それぞれの文化や習慣を共有したり、価値観や宗教の違いを話したりすることであらゆる視点から物事を考えることができるようになりました。同時に英語でコミュニケーションをすることが多く、改めて英語の大切さに気が付き、より一層英語力向上に努めるべきだと感じさせられました。授業では自分の意見や考えを発表することが多く、以前よりは躊躇することなく発言ができるようになりました。また、授業はドイツ語で行われるため、ついていくことが大変ですが、少しずつ理解できる範囲が増えて自分の成長を感じられます。

休日の過ごし方

寮の友達と各国の料理を作りあって食べたり、ドイツ国内・国外へ旅行したり、サッカーの試合を見にいったりととても充実しています。11月後半～12月には各地のクリスマスマーケットを巡り、地域や国による違いを発見することができ、とても楽しかったです。課題が多い時やテスト前などは友達と図書館で勉強をしました。

留学を考えている人に一言

様々な人と会うことでたくさんの刺激を受け、考え方が変わりますので、自分を成長させるチャンスだと思います！海外の良さだけでなく、日本の魅力にも気が付けるようになると思います。ドイツ留学であれば勉強の合間に他のヨーロッパの国々にも容易に旅行できるので、沢山の学びが得られてとても楽しいです！



交換留学体験記

留学先

米国



イースタン・ケンタッキー大学

保坂 はづきさん

教育学部言語教育コース

留学したきっかけ

中学生の頃、短期でアメリカに留学した経験がきっかけで、大学生になったら長期留学をしたいと思うようになりました。山梨大学で（日本語教員養成科目の）授業を受ける中で、マイノリティーの児童への支援やインクルーシブ教育に関心を持ち、異なる文化の中で生活し、教育を学びたいという思いが強まりました。そのため、多国籍の生徒が同じ教室で学ぶ環境や、教育学部を強みとするイースタンケンタッキー大学で学ぶことを決めました。

履修した授業

教育関連、英語のリーディング・ライティング、心理学の授業を受講しました。教育関連では、アメリカの学校教育の目的や教育者の役割、特別支援、マイノリティーに対する理解を深める授業がありました。英語の授業では、アカデミックな文献を読み、それに関するライティングを行いました。心理学の授業では、社会心理学を中心に研究法や心理学の基礎を学びました。日本の大学と比べて、生徒の自主性が高く、授業内で積極的に意見交換が行われていました。

キャンパスライフ

特に印象に残ったのは、マイノリティーの人々に関する授業です。LGBTQ、民族、人種、ホロコーストなど、過去差別を受けた/現在受けている人々への理解を深め、教育現場でどう活かすべきかを学びました。アメリカでは様々な背景を持つ人々が共存しているため、こうした授業が重要だと強く感じました。キャンパスライフでは、留学前に抱いていた理想とのギャップに落ち込むこともありましたが、積極的にイベントに参加したり、Tutoring Labで学び合ったりすることで、刺激的な体験を得ることができました。

留学を考えている人に一言

留学を決断するには大きな勇気が必要だと思います。実際、私も3年生の後期まで留学するかどうか悩んでいました。しかし、「やらない後悔」よりも「やった後悔」の方が自分にとって価値のある経験になると思います。最初は自分で生活できるか、授業についていけるか不安でしたが、留学してみると意外と何とかなるものです。

言葉や文化の壁があっても、挑戦することで得られるものは大きいです。留学へのハードルを下げて、まずは一步踏み出してみてください。新しい世界に飛び込むことで、きっと自分自身が成長できると思います！



留学先

米国



イースタン・ケンタッキー大学

今泉 凜さん

医学部医学科

留学したきっかけ

大学生の間に海外で生活してみたいと漠然と考えていました。語学留学も考えたのですが、語学だけでなく幅広く学べたらと考えました。興味のあった分野を学べる大学や英語を伸ばせる環境が良いと思い、アメリカのイースタン・ケンタッキー大学への留学を決めました。新型コロナウイルス感染症の影響や学部のカリキュラムとの兼ね合いの関係で留学時期に悩みましたが、1年間留学することができて良かったと感じています。

履修した授業

以前から興味を持っていた公衆衛生の授業や、心理学の授業を履修しました。履修したクラス数や授業時間はそれほど多くなかったため、その分英語の学習や予習・復習を丁寧に行っていました。少人数で参加型の授業が多く、プレゼンテーションをする機会もありました。英語に自信が全くなかった最初の頃はとても大変でしたが、教授やクラスメイトとも交流することができ楽しかったです。

キャンパスライフ

留学当初は慣れない環境や友人を作ることの難しさ、言語の壁など、想像していた留学生活とのギャップで悩むこともありましたが、想像していた留学生活とのギャップで悩むこともありましたが、しかし、悩んでその状況を打開するために努力したことは私の人生にとってかけがえのない財産になったと感じています。留学の後期になるにつれて人間関係も広がり、語学力の向上を感じることもでき、とても充実した日々になりました。友達とケンタッキー周辺に旅行に行ったり、パーティーをしたりとアメリカの文化を感じることもできました。

留学を考えている人に一言

留学することはとても勇気があることだと思います。私自身も不安ばかりで、留学中も楽しいことばかりではありませんでした。しかし、振り返ってみると全てが良い経験だったと感じています。ひとつひとつ挙げていけばきりが無い程、刺激に溢れた生活でした。本当に留学して良かったと感じています。迷っているならぜひ勇気を出して挑戦してみてください！



交換留学体験記

留学先

オーストラリア



シドニー工科大学

横山 光さん

教育学部言語教育コース

留学したきっかけ

以前山梨大学の海外研修プログラムでケンタッキー大学に行った際にとても刺激的な体験ができたため、より長期的に海外で生活したいと考えようになりました。私はいずれ英語教員になることを志しているため、オーストラリアという英語圏の国で生活をして、より英語力を高めたいと思っていました。また、シドニー工科大学は世界中から留学生が来ているため、様々な文化・価値観・考え方に触れることで人生観を豊かにしたいという思いから、留学することを決めました。

履修した授業

シドニー工科大学では、教育学ではなく、将来の教育者として必要になる分野への知見を深めるため、社会学的な授業を主に履修しました。1学期目は英語の授業に加え、メディアや異文化間コミュニケーションについて学び、2学期目はグローバル化や先住民などについて学びました。

キャンパスライフ

シドニー工科大学は都心部にある新しい大学であり、大学の規模もとても大きいです。授業の準備や期末レポートなどへの取り組みは大学の図書館でやる事が多く、また、世界中から留学生が来ているため、大学内を歩いているだけで様々な言語が聞こえてくるといのは非常に興味深い体験でした。また、大学で日本サークルに属するほか、日本食レストランで働いていたため、日本という心の拠りどころがありながらオーストラリアで生活することができたのは精神的にも助けになりました。

留学を考えている人に一言

海外での経験は間違いなく人生を変えてくれる良い機会となります。実際僕は新たな土地で新たな人と出会うことで大きな刺激を受けました。特にシドニー工科大学は規模も大きく、日本人学生も多いので孤独感を感じることはなかったです。日本との時差も少ないし、自然も豊かで、治安もよい。海外が初めての人でも非常に生活しやすい土地だと思います。みなさんもぜひシドニー工科大学の留学を検討してみてください！



留学先

オーストラリア



シドニー工科大学

伊藤 蒼さん

生命環境学専攻バイオサイエンスコース

留学したきっかけ

大学に入学した時から、海外で生活してみたいという漠然とした思いを抱いていました。しかし、高校時代から英語に対する苦手意識が強く、さらに新型コロナウイルス感染症の影響で一時期留学ができない状況が続いたため、英語学習に対するモチベーションを保つことができませんでした。修士課程に進み、就職を控えた頃、改めて学生のうちに留学したいという思いが強くなり、留学することに決めました。もう一つの理由は、将来ヘルスケアに関わる職業に就きたいと考えていることです。日本だけでなく、世界中の人々の健康に貢献したいという気持ちが高まり、そのためにも英語を使いこなせるようになりたいと思うようになりました。

履修した授業

英語・文化コースを履修し、オーストラリアの自然やシドニーの歴史を学びながら英語を勉強しました。日本の大学とは異なり、講義だけでなく、クラスメイトとの積極的なディスカッションの機会が多く、授業方法の違いを実感しました。先生はゆっくりとわかりやすく英語を話してくれるため、聞き取りやすく、わからないことがあれば気軽に質問できる雰囲気でした。そのため、英語に自信がない人でも安心して参加できると思います。ただし、クラスメイトのほとんどが日本人でさらに授業は週に2日3コマのみだったため、英語を使う機会を増やすために毎日大学で開催されている留学生向けの英会話クラスにも参加しました。そこでは、第一言語が英語ではない留学生と英会話をする機会を得られるだけでなく、多くの友達にも出会うことができました。

キャンパスライフ

UTSのキャンパスはシドニーの中心地に近く、非常に便利な立地です。図書館、講義室、カフェ、スポーツ施設などが整備されており、快適で充実した環境が整っています。キャンパス内は常に多くの学生で賑わい、勉強や議論が活発に行われています。また、さまざまなイベントが頻繁に開催され、キャンパス全体が活気に満ちています。留学生も多く、さまざまな国籍の学生と交流できる機会が豊富です。スポーツクラブ、文化交流、ボランティア活動、学術的な団体など、興味に合わせた幅広いクラブや団体があり、同じ趣味を持つ学生と出会うことができます。

留学を考えている人に一言

私のように英語が得意ではない人にとって、交換留学は非常に勇気がいることです。交換留学を通して得られた柔軟な文化に対する考え方や視野の広がり、そして新しい友達との出会いは、何にも代えがたい貴重な経験だと実感しています。どんな理由であれ、留学に少しでも興味がある方、英語を話せるようになりたい方はぜひ挑戦してみてください。



年間スケジュール

参加するプログラムを決めたら、計画的に準備を進めましょう！

月	夏季・春季海外研修	交換留学	説明会などイベント
4	夏季海外研修申込期限（4月下旬）	情報収集！ 大事です！	・夏季海外研修プログラム説明会 ・個別相談会 ・JASSO奨学金申込（夏季）
5	渡航前の集中講義授業開始 《G-フィロスで英会話練習も！》		
6	出発前の準備で安心！		
7			
8	◆ノーザン・アイオワ大学研修（8月～9月） ◆レスター大学研修（8月） ◆杭州電子科技大学研修（8月） ◆釜慶大学校研修（8月） ◆カンボジアのグローバルヘルス 課題解決に取り組む共同フィールドワーク（8月～9月）	秋学期スタート留学生 順次出発	
9	春季海外研修募集開始	9月1日 学内申込締切	
10	春季海外研修申込期限（10月末）	情報収集！ 大事です！	・春季海外研修プログラム説明会 ・個別相談会 ・JASSO奨学金申込（春季）
11	渡航前の集中講義授業開始 《G-フィロスで英会話練習も！》		
12		翌年度留学用 募集要項公開	山梨大学留学応援プログラム 奨学金申請開始
1		春学期スタート留学生 順次出発	山梨大学留学応援プログラム 奨学金申請期限（1月末）
2	◆ブリティッシュ・コロンビア大学 イングリッシュ・ ランゲージ・インスティテュート研修（2月・3月） ◆ケンタッキー大学研修（2月・3月） ◆マレーシア・ペルリス大学研修（2月） ◆カンボジアのグローバルヘルス 課題解決に取り組む共同フィールドワーク（2月～3月）		その他の奨学金は提出時期 などCNS(学内電子掲示板) で確認しよう
3			
		3月1日 学内申込締切	

現時点での予定です。時期等は変更になることもありますので、詳細は決まり次第、CNSでお知らせします。定期的にご確認ください。

国際化推進センター・グローバル推進課について

山梨大学海外研修・交換留学 担当教員

国際化推進センター教員 布村猛

場所：甲府東キャンパスB-1号館2階 布村研究室 (B1-216)

連絡先：(メール) tnunomura@yamanashi.ac.jp

(電話) 055-220-8709



海外研修・交換留学についてどんな小さなことでも気軽にご相談ください。
直接研究室にお越しいただいてもいいですし、メールでも結構です。

海外研修・留学/英語学習相談・各種英語試験対策はこちら

場所： 甲府東キャンパスB-1号館2階
英語学習アドバイザー室 (B1-223)

英語学習・留学相談 & プライベート英語レッスン予約

→URL: <https://www.ciee.yamanashi.ac.jp/reservation>



あなたにぴったりの留学スタイルを一緒に見つけましょう！
留学準備の英会話・各種英語試験対策のレッスンも行っています！

各種手続きに関してはこちら

場所： 甲府東キャンパスB-1号館2階
グローバル推進課 (B1-225)

連絡先：(メール) yu-study-abroad@ml.yamanashi.ac.jp

(電話) 055-220-8703/8047

奨学金に関する情報はここでもらえます！
手続きや書類準備のサポートをします！



甲府東
キャンパス
B-1号館2階

発行者/山梨大学国際化推進センター・教学支援部グローバル推進課
発行年月/2025年3月

※本パンフレットに掲載されている情報は2025年3月現在のものであり、変更になる場合があります。

